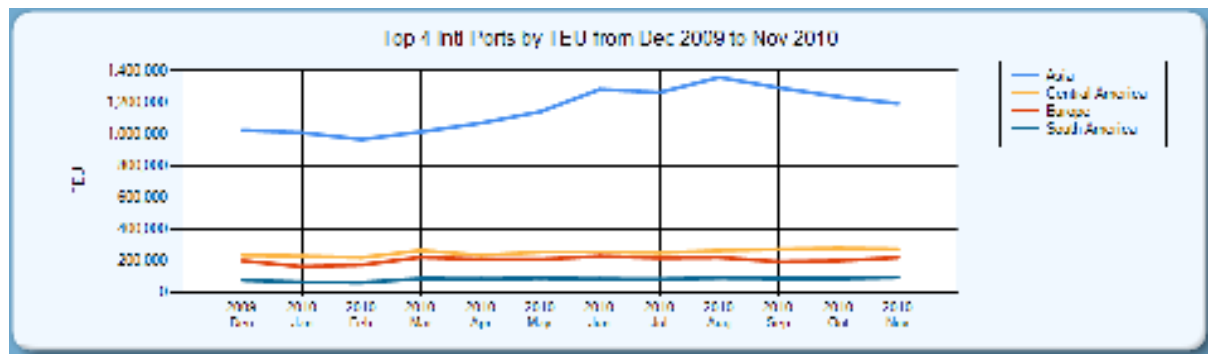


米国通関統計 11月輸入実績速報

ゼポ発表；米国11月輸入は前月比0.92%減、3ヶ月間連続マイナス

アジア発TEUは前月比3.5%の減少、日本発は6.8%増に



Source: Zepol Corporation-TradeIQ*

Zepol (ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス www.zepol.com) は、12月6日、米国税関AMS・B/L データ(*Note)を基に、米国海上輸入11月実績をまとめ発表しました。

それによると、米国輸入世界合計は **0.92%減**と3ヶ月連続のマイナスでしたが、アジア主要10カ国発も、11月TEU(積地港・Loading Port ベース)は前月より **3.5%減少**と9月以降3ヶ月連続の減少となりました。10カ国の昨年同月比では **+12.8%**でした。

アジア主要10カ国(11月度ランキング順；中国、韓国、香港、台湾、日本、シンガポール、ベトナム、マレーシア、タイ、インド)積出港(Loading Port)ベースで、中国と香港が夫々-6.0%、-11.4%だったのに対して、韓国は中国からのT/S(トランスシップ)が減少する中で、10月の-8.6%から+0.7%に戻し、台湾、日本、シンガポールは、いずれも10月のマイナスから、+4.4%、+6.8%、+8.6%と夫々増加し、日本は10月の-2.1%からの回復でした。一方、10月は+9.2%だったベトナムは-12.8%でしたが、マレーシアは10月の+8.5%から更に増加し+25.7%に、タイとインドも夫々、+1.9%、+3.5%の増加でした。(別表1参照)

韓国・釜山港T/Sを国別(Place Receipt ベース)構成で見ると、31%を占める中国積が-11%と前月に続いて減少となりましたが、5%を占める日本積は+26.0%と急増、ベトナムは0%でしたが、韓国内分、インドネシア、台湾は夫々+9.3%、+11.0%、+17.3%と10月-8.6%だった釜山港合計を+1.9%に戻した形です。(別表2参照)
日本積は、約半分を占める博多港の+27.6%に加えて、細島、大阪、広島、門司、神戸、各港からいずれも二桁の大幅増でした。(データ表省略)

別表1 アジア主要10カ国発 米国向け TEU (11月輸入)増減

USA Import from Asia Top 10 – November 2010			
Top 10 Countries Loading Port ベース	November 2010 (TEU)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
1. China	884,122	-6.0%	+17.4%
2. Korea	112,626	-0.7%	+ 2.1%
3. Hong Kong	106,901	-11.4%	- 0.4%
4. Taiwan	79,996	+ 4.4%	+ 6.3%
5. Japan	62,433	+ 6.8%	+ 9.1%
6. Singapore	49,558	+ 8.6%	+ 8.6%
7. Vietnam	16,123	- 12.8%	+ 228.1%
8. Malaysia	15,694	+ 25.7%	+25.1%
9. Thailand	14,763	+1.9%	+38.0%
10. India	14,359	+ 3.5%	+ 30.1%
Asia Top 10 Total	1,156,575	-3.5%	+12.8%

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

別表2 釜山港 T/S 11月 国別 TEU と前月比

Place Receipt 荷受地ベース	November 2010 TEU (Share %)	前月比 (%)
1. Korea (自国分)	56,917 (55%)	+9.3%
2. China	31,666 (31%)	-11.3%
3. Japan	4,869 (5%)	+26.3%
4. Vietnam	2,019 (2%)	+0.7%
5. Indonesia	1,686 (2%)	+11.0%
6. Taiwan	1,487 (1%)	+17.3%
7. Other Port	3,746 (4%)	- 9.2%
Pusan Total	102,390 (100%)	+ 1.9%
Korea Total	112,625	- 0.7%

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

* Note ; Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS(Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol (ゼポ) が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データです。 毎日数万件に及ぶ全米各港からの B/L 情報が蓄積されており、各自パソコンから簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、速報性を追求したオンラインサービスにより、画面上で B/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEU などの個別 B/L 情報のマトリックス分析が可能になっています。又、Container Type, LCL/FCL, Empty/Loaded, FROB 貨物、などの区分も可能で検索能力の向上も計られています。毎月、約 40 日遅れで発表される商務省統計に先立ち、前月分の米国輸入動向を翌月上旬に把握できる「一番早い米国貿易統計」として 2003 年以来、各業界で幅広く活用されております。ただし、公式データに基づいた客観的ファクト情報ですが、AMS 記載内容を忠実にそのままデータベース化し一部推計しているために、もしも AMS 記録内容に誤りがあったりダブルカウントなどがあれば、その通り含まれる可能性があります。 (www.zepol.com 参照)

本件に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan mnanseki@zepol.jp

以上